

1 題材名 私たちの暮らしと経済

2 題材の目標

《社会》

- ・ 消費者問題や労働、金融、財政などと、自分の現在および将来の生活が密接にかかわっていることに興味をもち、調べ学習や討論などに積極的に取り組むことができる。 【社会的事象への関心・意欲・態度】
- ・ 様々な経済的事象や現代の日本経済の課題について、消費者や生産者、労働者、政府、納税者などの立場から多面的・多角的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現することができる。 【社会的な思考・判断・表現】
- ・ 経済に関する資料や新聞記事などを様々な方法で収集し、家計、企業、政府の経済活動や、現代の日本経済の課題について読み取ったり、その結果を適切にまとめたりすることができる。 【資料活用の技能】
- ・ 身近な事例をもとに、消費や労働、生産と金融の仕組みや働きについて理解するとともに、市場経済の基本的な考え方を身につけ、その考え方を活用して経済的事象をとらえることができる。 【社会的事象についての知識・理解】

《家庭》

- ・ 家庭生活と消費に関心をもって学習活動に取り組み、消費生活をよりよくしようとする。 【関心・意欲・態度】
- ・ 消費者が必要とする情報を整理し、商品の選択や購入の方法を工夫できる。 【工夫・創造】
- ・ 生活に必要な物資・サービスの適切な選択・購入および活用ができる。 【技能】
- ・ 販売方法の特徴や消費者保護について理解することができる。 【知識・理解】

3 題材設定の理由

(1) 題材観

本題材は、社会科学学習指導要領【公民 (2) 私たちと経済】の指導事項において、

ア 市場の働きと経済

身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させるとともに、価格の働きに着目させて、市場経済の基本的な考え方について理解させる。また、現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解させるとともに、社会における企業の役割と責任について考えさせる。と述べられている。

また、家庭科学学習指導要領【D 身近な消費生活と環境 (1) 家庭生活と消費】の指導事項において、

ア 自分や家族の消費生活に関心をもち、消費者の基本的な権利と責任について理解すること。

イ 販売方法の特徴について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択・購入及び活用ができること。と述べられている。

現代の社会は経済活動が高度に発達し、市場には魅力的な新商品が次々に登場し、生徒は日常の消費生活において経済活動に触れている。また、商品の販売の方法や購入の方法が多様化し、生徒たちを取り巻く環境にも大きな影響を受けている。企業側は、多くの商品から消費者の目をひくための宣伝や広告にみられるように活発な販売競争が行われ、情報もあふれている。

このような社会の中で生活する私たちに求められている力は「自立した消費者」になるための力であり、自らの生活を支え向上させるための力であると考えます。そのために、生活に必要な物資・サービスを適切に選択、購入及び活用ができることが必要である。

(2) 生徒の実態

本題材の学習にあたり、生徒の消費体験や商品選択の基準についての実態把握をするために3年生全員にアンケートを実施した。その結果、8割以上の生徒が普段、近隣にある大型ショッピングモールやスーパー、コンビニで買い物をしていた。また、これまでに、約3割の生徒が買い物での失敗を経験している。生徒が購入して失敗したと思った商品は、洋服や文具、食料品などの身近なものが多いことがわかった。生徒が、商品を購入するときの商品選択の手がかりとしては、「その場でみてほしいと思った」が一番多かったが、「インターネットの情報」が次に多かった。また、商品購入の際に友達からの情報に左右される生徒も多くみられた。広告をみて、注目するところはどこですか。の質問に対して、「価格」「写真」「キャッチコピー」が多かった。食品を買うときの基準では、「価格」「見た目」が多く、「産地」や「原材料」を見て選ぶ生徒はとて少ないことがわかった。

全体として、本校の生徒は経済面ではある程度恵まれており、自分で自由に買い物をすることができるうえに、インターネットからの買い物や通信販売の経験も多いため、一人の消費者として正しい知識を身につけることが大切であると考えます。

(3) 指導観

今後ますます発展する高度情報化社会の中で、自分に必要な情報を集める力とそれを適切に判断し、選択する力が必要になってくる。また消費者として自覚を高め消費や環境に関する実践的・体験的な学習活動を通して消費生活についての基本的な知識を習得させるとともに、環境に配慮した生活を主体的に営む態度を育てたい。

そこで本時は、2時間続きの授業とし、1時間目は各班で家庭科の授業で製作した「生活を豊かにする作品」を商品化するための広告作りを行う。その中で、生産者の立場に立って、どのような工夫をすれば、商品を消費者に選んでもらえるかを考えさせながら、広告を制作させたい。2時間目は、主に消費者の立場になり、商品を選ぶ視点を考え、各班の広告を見ながら実際に商品を選ばせる。また、最後にアドバイザーの話聞くことで、生産者、消費者の立場をまとめ、暮らしと経済がとても身近な事であることを知らせると共に、興味・関心をもたせたい。

4 題材の指導計画と評価規準 (社会科)

学 習 内 容	時 間	評 価 規 準			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
1 わたしたちの消費生活	1	将来の家計支出の予測や改善について話し合うことを通じて、消費生活を向上しようとする態度が見られる。			家計における収入と支出、貯蓄の関係について理解し、その知識を身につけている。

2 消費者の権利	1		消費者の権利とその保護の取組について、多面的・多角的に考えている。		消費者問題の概要と、消費者の権利、消費者行政の役割について理解し、その知識を身につけている。
3 消費生活を支える流通	1	身近な商品の流通経路について積極的に調べようとしている。	流通の役割や流通の合理化の取組について、生産者、消費者の立場から多面的・多角的に考察している。		
4 商品の販売と購入	2 本時	商品の広告作りや発表などに積極的に取り組もうとしている。	商品の販売・購入について、生産者と消費者の両方の立場から多面的・多角的に考察している。	商品の広告について、必要な情報を的確に盛り込みまとめている。	

題材の指導計画と評価規準（家庭科）

学 習 内 容	時 間	評 価 規 準			
		関心・意欲・態度	工夫・創造	技能	知識・理解
1 家庭生活と消費 (1年時学習済み)	2	自分や家族の消費生活について関心をもち、消費の在り方を改善しようとしている。			
2 生活を豊かにするものをつくる	2	衣生活と住生活などの工夫に関心を持ち、自分の生活を豊かにするための考えがもてる。	自分の生活を豊かにするための作品を考える事ができる。	自分の生活を豊かにするための作品を製作することができる。	
3 商品の選択と購入	2 本時	身近な販売方法に関心をもち、その利点と問題点について考えようとしている。	収集・整理した情報を活用して物資・サービスの選択、購入及び活用について考え、工夫している。	実生活への生かし方を考え、物資・サービスの選択、購入及び活用について必要な情報を収集・整理することができる	

4 よりよい消費生活のために	2				消費者の基本的な権利と責任について理解している。
----------------	---	--	--	--	--------------------------

5 本時の目標

- 身近な消費生活の事例をもとに、暮らしと経済の関係に気付かせる。 (関心・意欲・態度)
- 生産者と消費者の関係について、多面的、多角的に考察し、わかりやすく説明している。 (思考・判断)

6 学習指導過程 (2時間扱い)

過程	学習内容及び学習活動	指導上の留意点		評価	資料等
		教師1 (西岡)	教師2 (永井)		
導入	1 事前に製作した作品を各班ごとに発表する。		作品のアピールがしっかりできるように助言する。		生活に役立つもの生徒作品
作品を商品として販売するにはどうすればよいか考えよう。					
展開 一時間目	2 作品を商品として販売するための広告作りに必要な内容を考える。 (販売の方法、価格、売る場所、広告の方法、時間など) 3 作品を売るための広告作りをする。 4 発表の練習をする。 (セリフはワークシートの原稿用紙に書かせて練習させる。)	商品の価格や販売方法など、生産者の立場になって、買ってもらえるための作戦を考えさせる。 既製のパンフレットや広告を参考にさせる。 テレビCMを参考に、消費者にいい商品とみてもらうにはどうすればよいかを考え、発表できるよう助言する。	作品のアピールがしっかりできるように助言する。 広告を作成する際の価格の設定についてふれる。 広告作りや発表するポイントをおさえているか、机間巡視をしながら確認する。	ポイントを考えて消費者が興味をもつ広告をつくることができたか。 (関・技)	既製のパンフレット 広告ワークシート 作品模造紙 (1/4の大きさ) マジック 作品の拡大写真はさみのり 原稿用紙
二時間	5 生産者と消費者の立場に分かれ、生産者が商品について説明し、消費者の立場で話を聞く。 A~Dの4つに分か	生産者の立場で発表し、消費者が買いたくなるような工夫をするよう、促す。	消費者の立場で発表を聞いている生徒が視点をもって良い商品を選んでいるかを確認する。 ワークシートにメモを取ることを促す。		作成した広告作品ワークシート

目	<p>れ、以下の要領で7クル発表をする。</p> <p>1分間 宣伝発表 30秒 評価 1分間 宣伝発表 30秒 評価 移動</p>				
	<p>6 買ってみたい商品2つを選び、マグネットをはる。</p>	<p>マグネットを貼った結果を見て、なぜその商品が選ばれたのかを考えさせる。</p>	<p>消費者の立場で買ってみたいものを選ばせる。</p>	<p>生産者と消費者の関係をわかりやすく説明できたか。(関・工)</p>	<p>ワークシート マグネット</p>
	<p>7 生産者はどんなことを大事にして商品を提供しているか。 消費者はどんなことに気を付けて商品を選んで購入したらよいかをそれぞれの立場でまとめ、発表する。</p>	<p>生産者と消費者の関係に気付かせ、今後の学習への興味・関心をもたせる。</p>			
まとめ	<p>8 本時のまとめとして、アドバイザーの話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品の適正価格を考える。 商品の情報をしっかり判断する。 	<p>生産者、消費者の立場をまとめ、暮らしと経済について考えさせる。</p>			<p>ワークシート カード</p>

7 金融教育の視点

- 身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させ、市場経済の基礎的な考え方について理解させる。
- 生産や金融などの仕組みや働きを理解させるとともに、社会における企業の役割と責任について考えさせる。

8 成果と課題

○成果

- 自分たちの作った作品を商品化するという設定が、生徒の興味関心、意欲を引き出すことになった。
- 商品の価格設定や広告作り、発表などに生徒が大変意欲的で、その表現力を引き出すことができた。

- 家庭科、社会科の2つの教科を合同で実施したことにより、学習内容の理解が深まった。
- ゲストティーチャーを合わせると、指導者が3人いたので、個別の支援がしやすく、生徒の活動がスムーズであった。
- ゲストティーチャーが最後のまとめたことで、学習内容の理解を深めることができた。
- 生産者の立場を模擬体験することで、消費者としての生活で気を付けることなどを考えることができた。
- 1対1の発表形式にしたことにより、発表する方も、聞く方も、集中して行うことができた。
- 社会科の経済学習の中で、この授業を引用することができた。

●課題

- 時間の設定が難しい。作品の制作に十分な時間がとれない。
- ゲストティーチャーの活用の仕方。

9 生徒の感想

- 私は、今、消費者として買い物をしています。今まで、価格が一番安いものを買ったりしていたけど、物を買うときは、その物に適した値段になっているか、良さを比べたり、必要であるかをしっかり考えて賢く買い物ができるようにしたい。また、様々な商品の原産国などの情報も集めて、安心して使えるような物を買いたい。将来は、消費者だけでなく、生産者にもなると思うので、自分や会社の利益だけでなく、消費者の立場で考えて、生活がより便利になるような商品を売りたいと思った。
- それぞれの班から商品が出されたが、それぞれの班がアピールの仕方に差があって、話を聞いてとてもおもしろかった。宣伝する際に、消費者にしっかりと生産者の考えが伝わるかどうかをあまり考えず、原稿をそのまま読んでしまったけど、しっかりと消費者と目を合わせながら発表したかったと思う。「商品を買う時に、消費者も生産者の立場を考えなければならない」ということを聞いて、今後そのことをちゃんと覚えておいて考えながら買い物をしていきたいと思った。
- 今回の授業で、生産者と消費者の両方の立場にたって物をつくったり、買ったりすることが大切だと知ることができました。また、実際に自分たちで生活を豊かにするものを考え、作り、自分たちでポスターをつくって宣伝したりなどをするのができ、生産者、消費者、両方の大切さやおもしろさを知ることができました。この授業で学んだことを今後に生かしていけるようにしていきたいです。社会科と家庭科の合同授業を通して、たくさんを知ることができ、とても勉強になりました。
- 品質がそこまでなくても、販売の技術によって売れ方が違うことがわかった。「価値にあった値段」というのを見極めること、安全性を見極めることの大事さがわかりました。
- 消費者と生産者は対等な立場で流通を通して、つながっているということがわかりました。消費者のことを第一に考えて、商品を開発、生産、販売を行う生産者の仕事は大変なんだなと思いました。安くて、性能がよく、安全性の高い商品を作ることの難しさも学ぶことができました。普段は何気なく見ていたCMやチラシにも効率よく宣伝するための工夫があることがわかりました。これから、生産者の視点からも「流通」を見つめてみたいと思います。
- 実際に自分たちでつくって商品として出すとなると、商品名や価格など決めるのが難しかった。特に価格は、原材料、人件費、利益をたして出さないといけないので、自分だったら買わない金額になってしまった。赤字になる班などもあって価格決めは本当に難しいと思った。消費者になったときは、自分が実際に使うかどうか、その商品に見合った価格になっているかを考えたい。
- 自分が生産者の立場になると、利益を大きくしたいから、材料費を削って、売るときには値段を高くしたいけど、自分が消費者の立場になると、良い材料で、できるだけ安いものを買いたいと思ってしまうから、商品を作って売るということは、いろいろな面で考えて、よりよいものにしないといけないから大変だなと

思った。今回の授業で生活に必要なものを100円ショップなどで簡単につくってしまうということもわかりましたが、品質にこだわることも大切だと思いました。広告も宣伝も他の人より目立つものにしないといけないので、工夫が必要だと思いました。

- 今回の授業の中で、自分たちの商品を自分たちで宣伝し、価格を決め、消費者に買ってもらえるように工夫するのは大変だということを知った。また、自分たちのもうけを考え、その品物にあった値段をつけ、消費者に納得して買ってもらうのも難しいことだと思った。自分が商品を買う立場で、他の班の宣伝をみると、“ほしいな”“お得だな”と思うことがあって、本当に必要かどうかも見極めて、買い物をしないといけないなと思った。利益のことだけ考えると物が売れなくなり、人件費を削減すると、また物を買わなくなるという悪循環が生まれるということ知った。自分が大人になって、ものを生産する立場や消費する立場になったとき、様々なことを考え、賢く生活できるようにしたい。

10 ワークシート

<自分たちの作品を商品にしよう！>

3年組 氏名 _____

1. 商品として販売するにはどうすればよいだろう。

(1) 商品化するために必要なことを話し合おう。

商品名	女子力UPの本包み	価格	324円(材料費は?)	円)
商品の特長やセールスポイント、キャッチコピーなど	女子力UPの効果がある。 いつでも、しおりを探さなくとも、本を開けることができる。			
販売方法	書店			
その他				

(2) 商品の広告を作ろう。次の項目は必ず入れて作成すること。

- 商品名
- 商品の写真
- 価格
- キャッチコピー
- 商品の紹介、セールスポイントなど
- 購入方法(販売方法)
- 販売者名(班名)



(3) 発表準備をしよう。商品を1分以内で宣伝すること。

① 発表原稿(300字)

女子力を上げたいと悩んでいる人はいませんか？この商品は、そんな悩みを解決してくれそうです！レースもお洒落のレースでかわいく仕上げられています。この商品のポイントには、これだけではありません！おなじみの本を紙でいろいろな場所に貼って使ったお洒落なしおりが、いつでもどこでも簡単に作れます。しかも、しおりが壊れて困ったときには、いつでも簡単に作り直せます。高機能、そして女子力UPのために使ってくださいませんか？この、女子力UPの本包みはお洒落な書店でお買い求め下さい。

2. 各班の宣伝を発表し合おう。(※とても良い4 良い3 もう少し2 良くない1の4段階で相互評価)

班	商品名	宣伝の内容で気づいたこと(良い点、改善点)	評価
1	なんでもボックス	2つ買うことでお得だというのが良いと思いました。	3
2	KABE	宣伝がとてもおもしろく1つの劇のようで良かったです。まただということがありました。	4
3	u×u×u	「新時代のヒモ!」敬愛で、審判にやさしいと思いました。	3
4	HC	どのような場所でも使えることができ、高機能で良いと思いました。	3
5	カンジュー	とても高機能で素晴らしいと思いました。宣伝がとても分かりやすくおもしろかったです。	4
6	らくらくスポーツ	スポーツの中に入っているボトルに穴があいている。とてもいいと思いました。50円と安い良いと思いました。	3
7	のびく!!	「のびて」「置ける」という利点を名前にしていて良かったです!! 500円が紙幣みたいな感じがおもしろかったです。	3
8			


3. 買いたい商品を2つ(2つの班)を選ぼう。

班	1	5
商品名	なんでもボックス	カンジュー
理由	とても実用的で使えたいと感じたからです。	

11 授業の様子



みんなの連絡手段
らくぼん
¥450 (税込)



メモを書いた紙ははる
共働きの
いそがしい家庭に
大活躍

筆記用具
学校で配布された
プリント等を入れる
すべてにフックがついており
移動可能!!!

2組7班

完全収納 Kanshu
カンシュー



これだけあれば
何もいらない!
どんな物でも
完全収納!
最寄りの
雑貨店へ
Let's go!

1500円 (税込)

株式会社 長光 TEL 02-0602-7800
3組 5班

思春期のみなさん
アタタの青春 守りまっ!!

3-26期生
かぶるのり
150<150<



←ポケットサイズ
入れ

使用済み
電池入れ
裏には
ミニポケット

磁石がついているので
机の側面に
ココ!!

ぽけったー
700円 (税込)

授業後
まとめて捨てる
机の上はいつも清潔